



保健指導等による健康づくりに取り組み、財政の健全化に努めます。  
**後期高齢者医療**については、被保険者の健康の保持増進を図るため、長寿健診の受診勧奨に努めるとともに、引き続き、脳ドック検診費用の一部助成を実施します。  
**高齢者福祉及び介護保険事業**については、地域包括ケアシステム、認知症対策等の強化に取り組みとともに、高齢者自身が健康の維持・増進や介護予防に取り組みめるよう、健康づくり・生きがいづくりの充実を図ります。

**(2) 「子どもがいきいきと育つまちづくり」**

**母子保健**については、昨年10月に開設した子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を展開し、新たに妊娠・出産包括支援事業として「産婦健診」、「産後ケア事業」などの拡充を図ります。  
 また、健やかな子どもの成長発達のため、規則正しい生活リズムの形成を推進するとともに、麻しん・風しん予防接種助成事業を継続します。

**子育て支援**については、第2期子ども・子育て支援計画を策定し、引き続き、子育て支援施策の具体的かつ総合的な取り組みを推進してまいります。  
 共働き家庭等の児童に対し、放課後に適切な遊びと生活の場を提

供する放課後児童クラブ事業を推進し、学校併設型の児童クラブの開所に、引き続き、取り組んでまいります。

また、生活保護世帯をはじめ、低所得のひとり親世帯に対し、引き続き、利用料の一部を助成する放課後児童クラブひとり親等支援事業に取り組みます。

さらに、保護者の負担軽減を図るため、保育園の主食費及び幼稚園の給食費の一部助成に取り組みます。

**幼児教育・保育**については、3歳児から5歳児の教育・保育の無償化に対応するため、市立幼稚園の施設等の充実を図ります。

また、子育て家庭の求める機能の強化・充実のため、市立幼稚園の認定こども園化に向け、4月から先行して「天願幼稚園」と「平敷屋幼稚園」を認定こども園に移行します。

**病後児保育**については、疾病からの回復期にある子どもを預かる病後児保育事業の実施に向けて取り組んでまいります。

また、待機児童ゼロを目指し、本年4月時点で、新たに800名の定員増を図りますが、さらに、400名の定員を確保するため、取り組みを強化し、待機児童の解消に努めてまいります。

**保育士確保**については、家賃補助等、国、県の制度も活用しながら、新たな人材確保のため、市独自の助成事業の拡充を図ってまいります。

**企業立地**については、「成長産業の育成・支援」、「企業誘致の推進」、「人材の確保・育成」に取り組みます。

**中城湾港新港地区**においては、さらなる企業集積と産業振興を図るため、港湾のインフラ整備とあわせて、東埠頭の岸壁延伸事業の早期着手について、引き続き、国や県に要請してまいります。

また、新たな産業集積の可能性を広げるため、産業基盤整備基本計画を策定し、戦略的な企業誘致活動に取り組みます。

**人材の確保**については、新たに立地企業における就労者に対して支援を行うことで、安定した雇用の継続に繋げてまいります。

**(4) 「自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり」**

**土地利用**については、地域特性に応じた計画的な土地利用を推進します。

**道路網などの交通体系**については、交通基本計画における将来交通ネットワークを踏まえ、短・中期的に取り組むべき総合的な交通の戦略を推進します。

**市道**については、地域間・集落間の道路連結を図り、利便性向上のため、川崎ルーシー河線ほか7路線の継続事業に取り組むとともに、新規事業として天願茶木根原道路整備事業及び宮里餅田原道路整備事業に着手します。

**(3) 「まちの活力を生み出す産業づくり」**

**農業農村整備**については、引き続き、農業基盤整備促進事業などに取り組めます。

**農業振興**については、新規就農者向けのスタートアップ支援事業や沖縄型レンタル農場設置事業等を推進し、うるま市の頑張る農業を応援します事業などに取り組んでまいります。

**畜産業振興**については、循環型農業促進事業による家畜排せつ物の利用促進や優良山羊生産拡大事業により、生産基盤の強化拡大を図ります。

**水産業振興**については、漁港施設保全計画の策定や漁業経営の安定化と効率化を図るため、浜漁港及び比嘉漁港の整備に引き続き取り組めます。

**農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」**については、ブランド化・6次産業化・集客アップに向けた取り組みを行うとともに、生産者の所得向上に努めます。

**商工業**については、地域経済の活性化を図るため、引き続き、住宅リフォーム支援商品券発行事業に取り組みるとともに、商品開発プロジェクト、農工商連携による市産品のPRや新たな商品開発・既存商品を含めた販路拡大を図ります。

また、中小企業に対して、労働生産性の向上を図っていく支援を

**街路**については、安慶名田場線をはじめ、兼箇段高江洲線の各道路改築事業を継続して推進します。

また、勝連半島をネットワークする道路として「県道勝連半島南岸部道路」の早期事業化を積極的に県に働きかけてまいります。

**道路の維持管理**については、道路老朽化修繕計画を策定し、計画的な修繕、更新に取り組めます。

**橋梁**については、点検結果を基に計画的な補修・整備を推進するため、引き続き、与那城107号線屋慶名橋架替事業や石川65号線東山原第一橋長寿命化修繕対策事業に取り組む、与那城6号線無名橋5については、補修・補強又は架け替えの判断をするための調査測量設計に着手します。

**生活道路**については、地域や市民の要望を踏まえつつ、危険度・優先度を総合的に勘案しながら、計画的に整備を進めてまいります。

**排水路**については、浸食及び浸水による被害を防ぎ、地域住民の生活環境改善を図るため、米原地区排水路の整備を継続して進め、新規事業として塩屋地内排水路整備事業に着手します。

**雨水幹線**については、雨水総合管理計画を策定し、計画的な浸水対策に取り組めます。

また、県事業で整備中の天願川・川崎川の整備促進については、引き続き、県に要請してまいります。  
**公園**については、引き続き、スーリ川公園及び米原緑地広場整備事

